

2015年野菜の売れ筋期待値ランキング

ーサツマイモ「べにはるか」首位ー

一般財団法人いも類振興会 理事長 狩谷 昭男

日本農業新聞は2015年1月6日、全国のスーパー、生協、卸売業者などを対象にした「2015年農畜産物トレンド調査」結果を発表した。販売キーワードの第1位に、「おいしさ」が4年ぶりに返り咲いた。売れ筋傾向も食味評価の高い品目・品種が上位を占め、味による消費喚起が販売促進の鍵になりそうだと分析している。

野菜部門の売れ筋では、2014年に6位だったサツマイモの「べにはるか」が、1位を奪取した（表1）。スーパーの店頭な

どで焼きいも販売が活発化しており、焼きいもに向く同品種の需要が大幅に拡大しているためだ。また、焼きいもで人気の“安納いも”も10位に入るなど、総じてサツマイモに対する高い人気が続いている。

一方、サツマイモに比べ、ジャガイモの凋落が目立つ。特に、「メイクイン」、「男爵薯」の不振が大きい。しかし、「きたかむい」、「スノーマーチ」、赤ジャガイモへの期待値が高まっているので、品種交代が進めば需要拡大にも繋がるであろう。

表1. 2015年野菜の売れ筋期待値ランキングにおけるサツマイモ、ジャガイモの地位

2015年順位	2014年順位	品目・品種	期待値	傾向
1	6	サツマイモ「べにはるか」	30	↑
10	7	サツマイモ“安納いも”	12	↓
34	25	ジャガイモ「キタアカリ」	5	↓
34	85	ジャガイモ「きたかむい」	5	↑
43	101	ジャガイモ「スノーマーチ」	4	↑
43	119	サツマイモ「べにまさり」	4	↑
57	42	ジャガイモ「インカのめざめ」	3	↓
57	85	サツマイモ	3	↑
67	35	サツマイモ「高系14号」	2	↓
76	183	紫いも	1	↑
76	—	サツマイモ「シルクスイート」	1	↑
94	70	サツマイモ「ベニアズマ」	0	↓
94	119	赤ジャガイモ	0	↑
123	101	ジャガイモ	-1	↓
147	133	ジャガイモ「男爵薯」	-2	↓
161	62	ジャガイモ「メイクイン」	-3	↓

資料：日本農業新聞「2015年農畜産物トレンド調査」の野菜部門から、サツマイモ、ジャガイモを抜粋し作成。「農畜産物トレンド調査」は、米、野菜、果実、食肉、乳製品、花、外食の7部門で実施。スーパーや生協、卸売業者など約300社の販売担当者に2014年11月下旬～12月上旬アンケートし、132社から回答を得た。

注：①売れ筋期待値は、今後消費が「特に伸びそうな品目」を2、「やや伸びそうな品目」を1、「減りそうな品目」を-1として集計。②2014年の-は比較できず。